

試料・情報利用研究計画書(概要)

審査委員会 受付番号	2018-1003	利用形態	共同研究	利用する 試料・情報	試料:なし 情報:地域住民コホート特定健診相乗り型の2.3万人(TMM 23K)の擬似全ゲノム情報(Japonicav2/v1/OmniExpressExome/Omni2.5)によるジェノタイプ情報のインピュテーションによる擬似全ゲノム情報)、健康調査情報(検体検査情報、調査票(生活)情報、特定健診情報)	
主たる研究機関	東京医科歯科大学			分担 研究機関	東北メディカル・メガバンク機構	
研究題目	データ関連人材育成プログラム 医療・創薬データサイエンスコンソーシアム 東北メディカル・メガバンク計画の大規模データによる研修プログラムの共同開発			研究期間	2018年10月～ 2019年3月	
実施責任者	田中 博	所属	東京医科歯科大学		職位	特任教授
研究目的と意義	ビッグデータ・人工知能などの「新しいデータサイエンス」を根底から理解するとともに、それらを医療・ヘルスケア・創薬に最も適した形で応用する能力を有する人材を育成するため、文部科学省データ関連人材育成プログラムの事業を受託して、医療・創薬データサイエンスコンソーシアムの一環として人材育成プログラムを研究開発します。					
研究計画概要	本研究では、医療・創薬データサイエンスコンソーシアムにおける人材育成プログラムの一環として、東北メディカル・メガバンク計画(TMM)の地域住民コホート特定健診相乗り型の2.3万人の前向きゲノムコホートの擬似全ゲノム情報(Japonicav2/v1/OmniExpressExome/Omni2.5)によるジェノタイプ情報のインピュテーションによる擬似全ゲノム情報)、健康調査情報(検体検査情報、調査票(生活)情報、特定健診情報)の大規模データを使用したデータサイエンス研修プログラムを、東京医科歯科大学と共同で研究開発します。 研修プログラムで実習する内容は、ゲノムワイド関連解析(GWAS: Genome-Wide Association Study)等であり、あらかじめ決められた内容とし、実習により得られる解析結果は想定された解析結果のみとなります。 研究開発した研修プログラムは、実際に、東北大学東北メディカル・メガバンク棟(ToMMo棟)における2日間にわたる研修で用いて、評価する。受講生に対してアンケート調査を実施し、これを用いて評価・検証を行います。					
期待される成果	医療・ヘルスケア・創薬においては、大規模な前向きコホートのジェノタイプ情報、健康調査情報が非常に有用ですが、こうしたデータを医療・ヘルスケア・創薬に活用する能力をもつ人材を育成するプログラムはこれまでにありません。このため、本共同研究により、こうした人材育成プログラムを研究開発することで、それらを医療・ヘルスケア・創薬に最も適した形で応用する能力を有する人材を育成することにつながると期待されます。					
これまでの倫理 審査等の経過	平成30年10月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認(2018-4-061) データ関連人材育成プログラム 医療・創薬データサイエンスコンソーシアム 東北メディカル・メガバンク計画の大規模データによる研修プログラムの共同開発					
倫理面、セキュリ ティー面への配慮	・「ヘルシンキ宣言(2013年10月改訂)」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針(平成20年12月改訂)」および「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(平成26年12月22日(平成29年2月28日一部改正)文部科学省・厚生労働省)」を遵守して実施します。 ・研修プログラムで実習する内容は、ゲノムワイド関連解析(GWAS: Genome-Wide Association Study)等によるあらかじめ決められた内容であり、参加者が独自に解析を行うことはありません。					
その他特記事項	科学技術人材育成費補助金(文部科学省データ関連人材育成プログラム)					
* 公開日	平成30年12月4日					